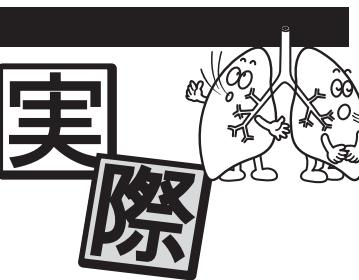


医 研 究 会

慢性閉塞性肺疾患

COPD管理の



1月20日（火）佐賀市
「COPD（慢性閉塞性
肺疾患）管
理の実際」の演題で、高
木病院副院長の林真一郎
先生の講演会がありまし
た。病気の原因、病態
予後、治療そして病気の
以下、参加者からの報
いました。

以下、参加者からの報告です。

うことで分かりやすく講演していただきました。原因・病態としては、タバコ粒子、排気ガス、一酸化窒素等の粒子が細気管支周辺に沈着して炎症が起これり、線維化を起こし終末細気管支が狭窄することで咳や労作時の息切れが出るようです。息切れの原因の1つに、肺の障害として末梢気流制限による動的肺過膨張があります。COPDは急性増悪の繰り返しで進行していく病態で、早期発見が予後改善に最も寄与することと肺胞壁破壊による酸素の取り込み障害があり、もう1つは骨格筋の障害があるようです。つまり運動時の息切れのため、運動を避けることで特に呼吸筋が障害され、肺機能や全身の体力が低下し悪循環に陥っているようですね。

A black and white circular portrait of Dr. K. S. Rama Rao, a man with glasses and a suit.

林真一郎先生

いる方が30万人と非常少ない要因の1つになっているようです。新規者の早期発見のため大病院での佐賀県COPD対策予防センターの活動を紹介され、40歳以上タバコを吸つたことが、COPDの疑いがある被験者のおよそ50%ということで、今後はPOはがくれ呼吸ケネット理事長でもある先生が、予防対策事業引き継いで行うとの力をお言葉をいただきました。

最近PM2・5の値報道されていますが、バコのPM2・5の値200～300であることは驚かされました。喫煙者数は減少しておますが、しばらくはCPDの患者さんは増加ると思われますので、早期発見のため喫煙者については注視して診療にたりたいと思います。にとつては大変有意義講演会でした。林先生今後のご活躍をお祈ります。（7賢人の掃除主

を話されました。また、高血圧や糖尿病などの生活習慣病では血圧測定、血液検査で早期発見はできますが、COPDで呼吸機能検査が簡単にできないことが早期発見

発行所
佐賀県保険医協会
佐賀市駅前中央1-9-45
(三井生命ビル4F)
電話 0952(29)1933
FAX 0952(23)5218
HP <http://saga-doc.jp>
zhouken-i@star.saganet.ne.jp
購読料 1部 200円
送料込 年間2,400円
(会員の購読料は会費)
に含まれています

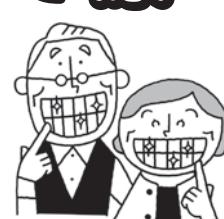
歯科研究会

協会会員数
医科 649人
歯科 337人
合計 986人
(12月31日現在)

主な記事

- | | |
|----------------------|------|
| 第26回保団連九州ブロック地域医療交流会 | 2面 |
| わたしの主張「『排せつケア』を考える」 | 2面 |
| 保団連全国機関紙誌交流会 | 2面 |
| 保団連沖縄視察会 | 3面 |
| 第31回福岡国税局との懇談報告 | 4~5面 |

安心で安全なインプラント治療



レントゲンだけで十分だと思われる症例でもCT撮影をして初めて問題点が浮き彫りになるケースが少なからずあるので必ず行うようにということであった。城戸教授が参加している世界のインペラント専門医が失敗症

はガイドの移動による入点のズレであるとのとだつた。歯牙を固定できることはいいが、そうではない場合は先行つたドリーリング部位トライアルガイド等をいるよいとのことであった。

さすがに失敗学会(筆)に所属されているだけであつて、失敗症例に学ぶ的な講演で有効な時間過ごせました。

・佐賀の酒については西日本新聞社刊、「佐賀県のものがたり」に詳細があります。

佐賀県保険医協会は、県民医療の向上をめざす医師・歯科医師の団体です